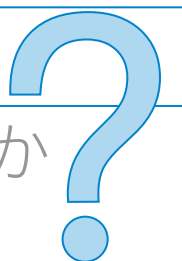


赤ちゃんはあなたの声を

**聞くことが**

できるでしょうか



## 保護者向けの情報

ニューヨーク州保険局  
(New York State Department of Health)

# 赤ちゃんは あなたの声を

## 聞くことが できるでしょうか？

ニューヨーク州の  
病院で生まれた  
すべての赤ちゃん  
は聴覚検査を  
受けます。

聴覚は非常に重要です。赤ちゃんは、話す方法や取り巻く環境について学ぶために音を聞く必要があります。言語または学業の遅れにつながる問題を防ぐために、生後数か月間の聴力は非常に重要です。

スクリーニングは、赤ちゃんが聞こえているかを確認するために短時間で行える検査です。次のいずれかの可能性があります。

- 退院する前に赤ちゃんの聴覚スクリーニングを実施する。
- ご自宅近くで赤ちゃんの聴覚スクリーニングを受ける方法を伝えられる。

赤ちゃんを病院で出産しなかった場合には、あなたの医師またはクリニックに赤ちゃんの聴覚検査について尋ねてください。

出生後できるだけ早く、すべての赤ちゃんの聴覚を検査する必要があります。赤ちゃんに難聴がある場合、できるだけ早く知ることにより良い対応ができます。1,000人に2～4人の割合で、赤ちゃんに重度の難聴が見つかります。



## 難聴の 原因となるものは？

赤ちゃんの難聴の原因はわからないことがあります。また、以下が原因となることもあります。

- 遺伝性の難聴
- 耳の感染症
- 髄膜炎
- その他の重篤な感染症

質問や心配な点がある場合は、赤ちゃんの担当医またはクリニックに相談してください。

# 赤ちゃんの聴力を 調べる方法

訓練を受けた担当者があなたの赤ちゃんの聴覚を検査します。スクリーニングは短時間で完了します。検査中に赤ちゃんが眠っていても構いません。赤ちゃんのスクリーニングは次のいずれかの方法で行われます。

- 赤ちゃんの耳に小さなマイクロホンを着着する。
- 赤ちゃんは特殊なイヤホンを着着して、額に小さなパッドを設置する。

その後、小さな音を流して赤ちゃんの聴覚を測定します。スクリーニングの結果が意味することを記載した冊子をお渡しします。聞こえているか明確に知るために、2回目のスクリーニングが必要になる場合があります。赤ちゃんの動き、室内の騒音、出生後の耳内の液体によって誤った結果となることがあります。再び検査する必要がある場合、再検査の方法についてお知らせします。





## お子さんの聞こえと 話す言葉を確認しましょう

ほとんどの赤ちゃんは聴覚スクリーニングで「パス（合格）」になります。これは、赤ちゃんが**今**聞こえていることを意味します。赤ちゃんがスクリーニングに「パス（合格）」しても、頻繁に赤ちゃんの聴覚を確認することが重要です。次のチェックリスト\*は、赤ちゃんの成長とともに聴覚を追跡する際にお役立てください。正常な聴覚は、赤ちゃんがチェックリストに記載されていることするのに役立ちます。お子さんの聴覚について心配な点がある場合は、月齢・年齢にかかわらず、赤ちゃんの担当医またはクリニックに相談してください。

## 正常な聴覚のチェックリスト\*

### 出生～3か月

- ・ 日常的な声や音の近くで静かになる
- ・ 大きな音に反応する：びくっとする、まばたきをする、授乳時に飲むのを止める、泣く、眠りから目覚める
- ・ 覚醒時に小さな音を立てる：喉を鳴らす

### 3～6か月

- ・ 音の方へ眼や頭を向けて動かす：声、音がするおもちゃ、犬の鳴き声
- ・ 話すような声を作り始める：「ガー」、「ウー」、「バー」や、p、b、mの音
- ・ あなたの声のトーンの変化に反応する

### 6～9か月

- ・ 小さな音、特に話し声に反応する
- ・ 自分の名前に反応する、特に呼ばれたときにこちらを見る
- ・ 単純な言葉を理解する：「だめ」、「バイバイ」、「ジュース」
- ・ 片言で話す：「パパ」、「ママ」、「ババ」

### 9～12か月

- ・ 小さな音と大きな音の両方に一貫して反応する
- ・ 単一の言葉を繰り返し、動物の鳴き声をまねする
- ・ 好きなおもちゃや食べ物について尋ねられると、それを指さす

### 12～18か月

- ・ 10以上の言葉を使う
- ・ 単純な言葉での指示に従う：「ボールを取ってきて」
- ・ 人、体の部位、おもちゃについて尋ねられると、それを指さす
- ・ 音楽に合わせて「とび跳ねる」

### 18～24か月

- ・ 20以上の言葉を使う
- ・ 2つ以上の言葉を組み合わせる：「ジュース、もっと」、「これ、なあに」
- ・ 言葉の始めて異なる多くの子音を使用する：b、g、mの子音
- ・ 単純な物語や歌を聞こうとする

### 2～3歳

- ・ 2～3の言葉から成る文を使用する
- ・ 2歳では、子どもが話す言葉は一部の場合（25～50%）理解される
- ・ 3歳では、子どもが話す言葉はほとんどの場合（50～75%）理解される
- ・ 2段階の指示に従う：「ボールを取ってきて、箱に入れてください」

\*カリフォルニア州保健局（California Department of Health Services）のチェックリストから引用。

**お子さんの聴覚はどの年齢でも  
検査でき、また検査すべきです。**



## 赤ちゃんのために 役立つ情報

赤ちゃんに難聴がある場合、または難聴の可能性がある場合、さらに支援を受ける必要があるでしょう。新生児、特別な支援が必要な幼児、およびこれらのお子さんのご家族は、ニューヨーク州保険局の早期介入プログラム（Early Intervention Program、EIP）から支援を受けることができます。EIPは聴覚スクリーニングと検査を提供し、あなた、あなたの赤ちゃん、ご家族を支援します。詳細については、あなたの医師、クリニック、またはお住いの郡もしくはは区のEIPまでお問い合わせください。

新生児聴覚スクリーニング、またはEIPについての詳細は、以下までお電話ください。

**(518) 473-7016**

または、早期介入プログラムのウェブサイト을以下からご覧ください。

**[health.ny.gov/community/infants\\_children/early\\_intervention/](https://health.ny.gov/community/infants_children/early_intervention/)**

地域のEIPに直接連絡するには、以下までお電話ください。

**Growing Up Healthy 24-Hour Hotline  
(Growing Up Healthy24時間ホットライン)**

**1-800-522-5006**

**TTY : 1-800-655-1789**

**ニューヨーク市内 : 311**

赤ちゃんは  
あなたの声を

聞くことが  
できるでしょうか？

あなたの赤ちゃんがニューヨーク州の病院で生まれた場合は、疑問に思う必要はありません。ニューヨーク州で生まれた赤ちゃんは全員、聴覚検査を受けます。

下記から当機関をフォローすることができます：

[health.ny.gov](http://health.ny.gov)

[facebook.com/NYSDOH](https://facebook.com/NYSDOH)

[twitter.com/HealthNYGov](https://twitter.com/HealthNYGov)

[youtube.com/NYSDOH](https://youtube.com/NYSDOH)



Department  
of Health